

神戸商工会議所 経営経済四半期動向調査（2025年4～6月期）調査結果

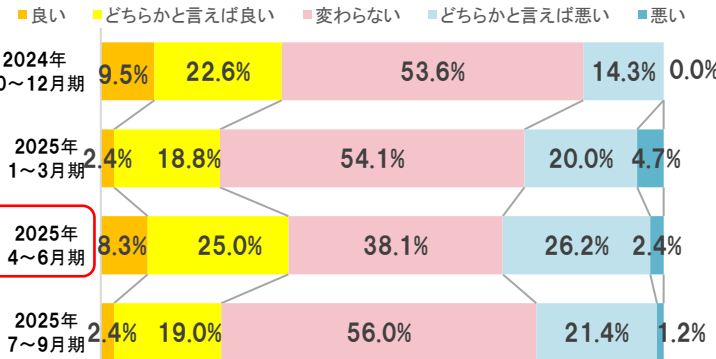
●調査対象 神戸商工会議所会員84事業所／対象102事業所
●調査時期 2025年6月2日～17日

●調査内容 1～2：定期調査 / 3～4：付帯調査

1. 各社の業況について

◆今期(4～6月)は、前期と比べて「良い」「どちらかと言えば良い」が12.1ポイント上昇した。一方で、「どちらかと言えば悪い」「悪い」も3.9ポイント増加し、前期に比べ二極化が進む傾向となった。
◆来期(7～9月)の予測は、「変わらない」が17.9ポイント増加し、半数以上を占めた。

(前期に比べて)



前期との比較 1～3月 →4～6月	良い / どちらかと言えば良い		どちらかと言えば悪い / 悪い	
主な業種	食品製造、菓子製造、清酒製造、電気機械製造、食堂・レストランなど	+12.1	自動車小売、食品小売、百貨店、旅館・ホテル、観光施設、印刷など	+3.9

(参考) 前回調査時 2025年4～6月期 予測



2. 各社・業界での特徴的な動きなど

(1) 原材料・エネルギー・人件費等コストの高騰

- 建設資材の高騰や人件費の上昇によるコスト増と慢性的な監視技術者・技能労務者不足が続いている。【総合建設】
- 紙やインキ、印刷版など原材料高騰しているが、価格転嫁が追い付いていない。【印刷】
- 物価の上昇、インバウンド客の増加による火災保険料も大幅に上がる予想【ホテル】
- 農・水・畜産物をベースにして組成される食品や加工食品の価格改定、さらには米価の価格改定などは、マスコミを中心にそれらの価格改定に対する風当たりが強すぎるように思う。【食品製造】

(2) 人手不足・人材確保・採用

- 人材確保の為、全社員がリクルーターとの意識を持ち、母校訪問等の採用活動を行っている。社員の処遇やWell-beingの向上・女性活躍推進・外国人の活用等に注力している。【総合建設】
- 最低賃金上昇や社会保険料負担がどこまで続くのか、人件費高騰による経費圧迫が不安。【文具事務用品小売】
- 技術者及び技能者ともに新規採用が困難な状況。【土木工事】
- 民間工事では相談は受けるが、対応できる人材が不足して、機会喪失している。【総合建設】

(3) 価格転嫁・個人消費の動向

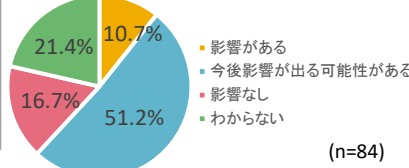
- 万博の商品需要があり、急激に売り上げが増加している。製造量の増加に対応するための機械化を進める。【菓子製造】
- お米の値上がりで日本米だけでなく、外国米が売れている。【食堂・レストラン】
- 2025年度に入ってから委託業務費用の値上げラッシュが続いている。【フェリー運航】
- 海洋資源の不漁、原価高騰による仕入価格上昇分を価格転嫁するのに限界。【食料品小売】
- 為替や価格高騰といった理由もあり、海外旅行が伸び悩んでいる【旅行】

(4) その他【海外情勢・設備投資・働き方など】

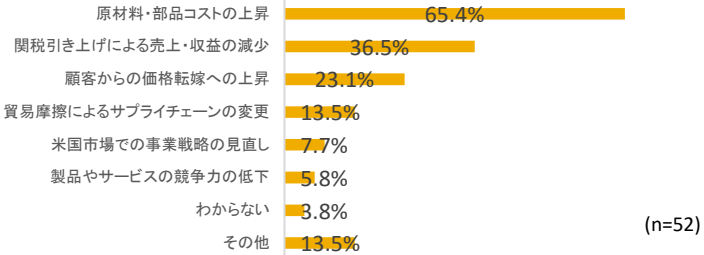
- 神戸空港国際チャーター便の就航をチャンスと捉え、市内観光ツアー造成を図る。【バス・タクシー】
- 関税の動向に注意を払い、グローバルで最適な生産体制を構築する。【工業用ゴム製品製造】
- 女性管理職比率や男性育児休業取得率の向上・健康経営・AI活用の取り組み【総合商社】
- 労務費の高騰、燃料費高騰やトランプ関税により荷動きが不透明でこの先が読めない。【運輸】
- 米国の関税問題で日本企業の設備投資の減退。【機械器具卸売】
- トランプ関税問題で大手企業の設備投資動向に不透明感がある。【電気機械器具卸売】
- トランプ関税の影響で、中国製品のアメリカ向け三国間貿易が停止している状態。【総合商社】
- 省人化を進めるにあたり機械化、自動化が追いつかない。【菓子製造・販売】
- 備蓄米の販売について、精米業者等の取引先との協議がまとまらない。【各種食料品小売業】

3. 米国の関税引き上げについて

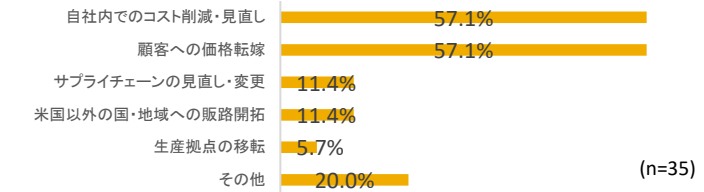
米国における関税措置が及ぼす影響について尋ねたところ、「影響がある」と回答したのは、10.7%となった。「今後影響が出る可能性がある」が51.2%と最も多く、「わからない」が21.4%と続いた。



具体的なビジネスへの影響について尋ねたところ、「原材料・部品コストの上昇」が65.4%と最も多く、「関税引き上げによる売上・収益の減少」が36.5%と続いた。(複数回答)

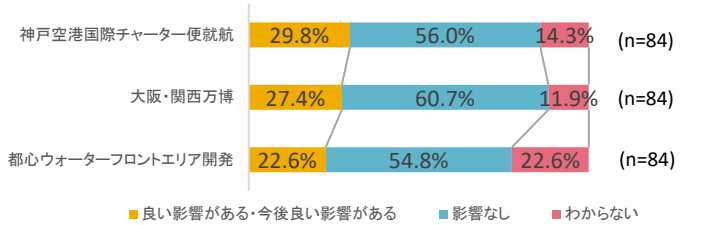


関税引き上げに伴い実施・あるいは今後行う予定の対応について尋ねたところ、「対応策はとらない・現時点ではわからない」が58.3%と6割弱を占めた※。一方、対応をとる場合は「自社内でのコスト削減・見直し」「顧客への価格転嫁」がそれぞれ57.1%と最も多かった。(複数回答) ※「対応策はとらない・現時点ではわからない」は84社中49社が回答。



4. 大阪・関西万博や神戸のインフラ整備等による影響について

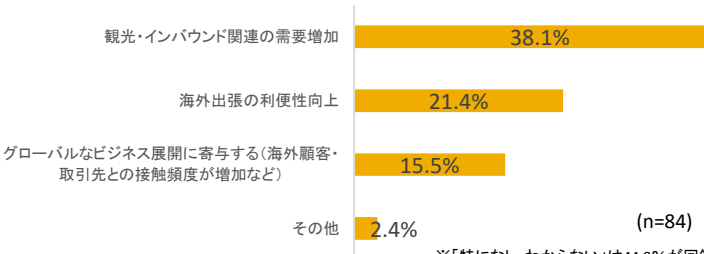
大阪・関西万博や神戸のインフラ整備等による影響について尋ねたところ、「良い影響がある・今後良い影響がある」が最も多かったのは「神戸空港国際チャーター便就航」で29.8%となった。



良い影響の具体的な内容について (自由記述)

国内観光客・インバウンドの増加/神戸空港国際化による海外出張の利便性向上/万博関連商品の売れ行きが好調/パビリオン出展による企業認知向上//ウォーターフロントエリアへの設備投資に対する期待など

神戸空港国際化によって期待できるビジネス変化について尋ねたところ、「観光・インバウンド関連の需要増加」38.1%、「海外出張の利便性向上」21.4%など前向きな変化を実感する声も聞かれた。(複数回答)



神戸のインフラ整備に関連して、現状を踏まえたご意見・今後の期待や要望 (自由記述)

神戸空港国際便の路線・便数増加/三宮から新神戸駅・神戸空港・ウォーターフロント間の交通アクセス改善/北区・西区・兵庫区等への回遊性向上/大阪湾岸道路西伸部の早期開通/メイン道路以外の老朽化が進む細い道や生活道路の整備/地元企業とのベンチャー事業の連携/観光案内の整備/SNSでの国内外への効果的な発信/旧居留地・元町エリアの回遊性など